

平成25年度 小平市 教育委員会表彰 (児童・生徒対象)

教育委員会では、毎年、コンクールや競技会で優れた成績を収めた子どもたちを表彰しています。平成25年度は、56人、6クラブと多くの子どもたちが受賞し、平成26年3月17日(月)に市役所で表彰式が行われました。

委員長から表彰状が贈呈された後、受賞者を代表して、小平第一中学校3年(表彰式当時)の大崎かな子さんから、「幼いころから休まず努力を続けてきたことが、このような結果に結びついたのでと思います。高校では、新しいことを学ぶ喜びやまわりの方々への感謝の気持ち忘れずに、より一層精進して参りたいと思います。」との力強いあいさつがありました。

◆平成25年度教育委員会表彰受賞者・団体(敬称略、学校、出場大会等は平成25年度時点)

▽小学生
「二小」白石ニイナ、田村優斗、深澤裕一郎(第63回はたらく消防の写



生会)、「五小」三隅杏菜、小原桃果、山田昇、大久保遼太、後藤孝彰(第63回はたらく消防の写生会)、「六小」大野来奈、芝池姫蘭、石上沙南、吉住恒思、奥出柊子、山本動星、八巻舞音(二茶まつり全国小学生俳句大会)、内島萌夏(第31回第一生命全国小学生テニス選手権大会)、「八小」和田海人(第63回はたらく消防の写生会)、「九小」安藤愛華(第63回はたらく消防の写生会)、「十一小」尾林茉帆(第63回はたらく消防の写生会)、「十二小」木村菜結、玉ノ井佑太(地球・夢・未来―石油の作文コンクール)、「鈴木小」野口楓馬(第63回はたらく消防の写生会)、「学園東小」関口真莉菜、植木結琳(第35回全国公募千字文大会)、「上宿小」池田千鶴(第63回はたらく消防の写生会)

▽中学生
「一中」青佳祐(第40回全日本中学校陸上競技選手権大会、3年男子百対2百対、第66回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会、共通男子4×100リレー)、大崎かな子(第29回高田宮杯日本武道館書写道大展開会、硬筆の部)、川原爽、土田ななみ(第57回全国学芸サイエンスコンクール)、「二中」佐野直輝(第66回東京都中学校支部対抗陸上

上競技選手権大会、共通男子4×100リレー、第38回関東地区空手道選手権大会、中学3年生男子組手の部)、小平第二中学校女子テニス部、小平第二中学校男子テニス部、李淑玲、野田樹力、武藤洗希、野村優斗、大石卓和(第40回全国中学生テニス選手権大会)、遠藤樺菜子、金子遥、松井望海、榎本あかり(第66回関東中学生テニス選手権大会)、「小平第二中学校男子バドミントン部、小野寺雅之、柴田陽登、福島壮太、佐々木しおり、吉村七美(第43回全国中学校バドミントン大会)、小平第二中学校女子バドミントン部、江越恵伍(第44回関東中学校バドミントン大会)、大石悠生、熊澤里咲(第56回東京都中学校バドミントン新人大会)、小平第二中学校バスケットボール部(第43回関東中学校バスケットボール大会)、「三中」菊池将克(第66回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会、共通男子4×100リレー)、「四

中」岩井康佑(第53回全国中学校水泳競技大会)、「六中」小平第六中学校吹奏楽部(第61回全日本吹奏楽コンクール)、「花南中」福田健人(第66回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会、共通男子4×100リレー)、森梓紗(第31回全国小中学校箏曲コンクール)

〈教育庶務課〉



平成27年度就学 特別支援学級・学校 就学相談

平成27年4月に小学校、中学校へ就学するにあたり、心身に障がい心配があり、特別な支援を必要とするお子さんの就学先について、相談を受け、適切な就学を支援します。(左図参照)

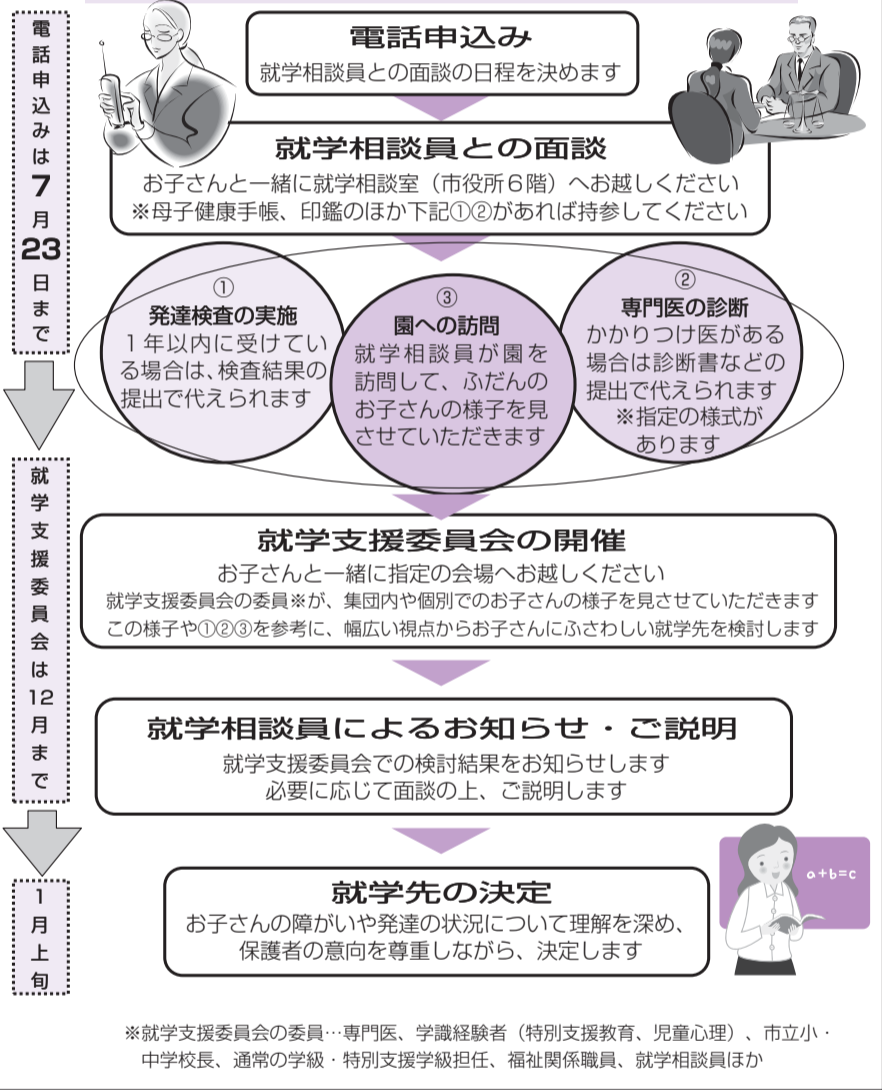
相談対象者

▽小平市立小・中学校特別支援学級または都立特別支援学校への就学をお考えの保護者

▽現在、お子さんが身体的理由で就学猶予または免除を受けていて、平成27年4月からの就学をお考えの保護者

申込み 7月23日(水)までに問合せ先へ
学務課就学相談担当 ☎042(346)9593

就学相談の進め方とスケジュール



※就学支援委員会の委員…専門医、学識経験者(特別支援教育、児童心理)、市立小・中学校長、通常の学級・特別支援学級担任、福祉関係職員、就学相談員ほか

情報モラルを 育むために (第1回)

今日、社会の情報化が進む中で、私たちの暮らしも大きく変化しています。パソコンや、スマートフォンを含む携帯電話等が広く普及し、誰もが世界中のさまざまな情報を簡単に入手できるようになりました。一方、そうした情報化の進展の中で、子どもたちがインターネットの掲示板や携帯電話等によるメールでのトラブル、SNSなどでの誹謗中傷、ネットいじめなどさまざまな問題に巻き込まれるケースが増えていきます。そのため、本市においても、パソコンや携帯電話等の利用に関する教育を充実させる必要があります。

各学級の取組について

子どもたちに携帯電話等を使わせるときには、さまざまな約束が必要で、そこで、セーフティ教室や総合的な学習の時間に情報モラルについて学ぶ時間を設定し、計画的な学習を進めています。

また、都の関係機関、警察、携帯電話会社などからゲストティーチャーを迎え、インターネットの危険性や安全な利用方法について指導しています。

平成26年度小平市立小・中学校の具体的な取組例

- 小学校
・ネチケット※について
・個人情報保護の管理と重要性について
・パソコンや携帯電話の安全な使用と被害・加害防止について
※ネチケット…ネットワークとエチケットを組み合わせた造語で、インターネット上で守らねばいけないマナーやエチケットのこと。
- 中学校
・インターネットの正しい使い方
・ネット被害の未然防止・使用時のマナーの遵守

教育委員会では、自分を守り、他人に迷惑をかけない情報モラルや危険回避に関する指導を充実させるために、研修会の実施や、教員の指導力向上などに取り組んでいます。今回は学校での取組を紹介いたします。

情報モラルとは

情報モラルとは、情報社会で適正に活動するための基本となる考え方や態度のことです。このことは、日常生活でのモラルと深いつながりがあります。人に温かい心で接し、親切にすること、友達と仲よくし、助け合うこと、他の人との関わり方を大切にすることなどは、道徳の授業を中心にさまざまな教育活動を通して学んでいます。

情報モラルとして指導する、自分の情報や他人の情報を大切にすること、相手への影響を考慮して行動すること、自他の個人情報を、第三者にもらさないことなどは、人を思いやることを学んでいけば何も特別なことではありません。

こうした互いへの思いやりは、学校だけでなく、家庭や地域でも育ま

保護者・地域のみなさんへ

小平市立小・中学校では、右の取組を、学校公開日などに設定し公開しています。学校公開日の日時については、学校だよりや学校ホームページなどをご確認ください。ぜひ、各校の取組をご覧いただき、ご家庭でも情報モラルのルール作りに取り組んでください。

小平市の子どもたちが情報社会をいきいきと安全に生き抜く力を育てていけるよう、学校・家庭・地域の連携を引き続きお願いします。